

メーデー宣言

われわれは本日、働くものの祭典・第74回メーデーを開催した。いま、労働者を取りまく状況は厳しい。平和と人権が脅かされ、雇用や生活不安が深刻になっている。

今回のイラク戦争は、21世紀の国際関係のあり方、とりわけ国連を中心とした平和的解決の大切さをあらためて国際社会に問うている。イラク復興支援は国際社会が責任を持つべきである。国連は国際世論と力を総結集し、イラク国民自身による国づくりを平和的・民主的に支援すべきである。北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）の核兵器開発とNPT脱退宣言は、北東アジアの非核化に逆行し、朝鮮半島及びわが国との関係を緊張させている。北朝鮮の核兵器開発に断固抗議し、即時中止を要求する。日本・アメリカ・韓国・中国・ロシアの関係各国は協調して平和的解決に努力すべきである。さらに北朝鮮による日本人拉致事件は、国家による人権侵害である。われわれは北朝鮮政府の責任を厳しく糾し、すべての拉致被害者と家族の帰国要求を支持し、その実現を求める。

長期不況の中で企業倒産や首切りリストラの嵐が吹き荒れ、雇用・失業は戦後最悪の事態を続け、改善の兆しを一向にみせていない。しかし、政府は本格的に雇用対策を行おうとはせず、逆に労働基準法や労働者派遣法の改悪を強行しようとしており、労働者の雇用不安や生活不安をますます拡大させている。経営者は雇用の安定や労働条件維持、環境保全、人権の確立に社会的責任をとらなければならない。そして政府は景気を回復させ、雇用の安定・創出、労働者保護を強化すべきである。

世界 150ヶ国・1億5800万人の労働組合員を擁するICFTU（国際自由労連）は、グローバル化がもたらす貧困や飢餓、差別や抑圧、紛争やテロをなくすために、また政府や経営者に労働者の権利を尊重させるために、世界中の労働者が立ち上がるよう呼びかけている。

われわれもこの呼びかけに応えよう。

働くものの連帯で「平和・人権・環境・労働・共生」に取り組み、労働を中心とする福祉型社会を実現して、自由で平和な世界をつくらう！

われわれは、働く仲間が日本を元気にすることをここに宣言する。

第74回メーデー万歳！

2003年 4月26日
第74回福岡メーデー